※令和４年度以降入学生用

学校番号	１１１

令和５年度　芸術科

教科	芸術	科目	書道Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「書道Ⅰ」　（東京書籍）						
副教材等	自主教材プリント						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・小学校、中学校の書写の授業で学んだことを発展させて、芸術科書道では用具用材の違いによる表現の違い等を学びましょう。
・古典や古筆の名品を鑑賞し、楷書・隷書・行書から平安朝の仮名に至るまで様々な書体を臨書し、多様な美を味わうことを目標とします。また、古典の美を基本とした創作を経験し、自分の書表現の幅を広げることをめざします。篆刻で姓名印も制作します。
・古典の臨書や鑑賞を通して書写能力の向上をめざします。
・身近に飾れる作品を作ることで達成感を味わい、書を愛好する心情を育てます。

２　学習の到達目標

書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広くかかわる資質・能力を次のとおり育成することをめざす。
・書の表現の方式や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。
・書の良さや美しさを感受し、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。
・主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解している。 ・書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付け，表している。	・書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりしている。	・主体的に書の表現及び鑑賞の幅広い活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	書写と書道（書体の変遷）	・国語科書写と芸術科書道の違いを理解する。 ・漢字の書体の変遷について理解する。 ・さまざまな書体を知る。	a：漢字の書体の変遷を、歴史的背景と合わせて理解しようとしている。 b：書写と書道の類似点・相違点について興味を持ち理解しようとしている。 c：今後の学習に意欲的に取り組もうとしている。	ワークシート	授業観察	ワークシート
	篆刻 姓名印づくり	・自分の名前の篆書体調べ ・名前の１文字白文印の制作	a：運刀に関する知識や技法を理解し、効果的な表現の技能を身に付けている。 b：篆刻における分間布白を理解し、印稿の表現を工夫している。 c：名前の漢字の各書体を調べて、書体の変遷について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。	姓名印	ワークシート	授業観察
	行書の学習	・楷書と比較して行書の主な特徴を理解する。 ・「蘭亭序」や「風信帖」の鑑賞・臨書を通して行書の用筆・運筆の技法を習得する。	a:行書を楷書と比較し、字形や用筆の特徴、特に点画の丸み、連続・省略などについて理解している。 b：それぞれの古典の書風、字形や線質、点画などの特徴を把握して、臨書する際に主体的に表現を工夫している。 c：書き手による書風の違いに関心をもち、それぞれの書風を主体的に言い表そうとしている。	作品 授業観察	ワークシート	ワークシート
	楷書の基本	・唐の四大家の楷書の学習を通して楷書の特徴を理解する。 ・用筆の違いによる書風の違いを理解する。 「孔子廟堂碑」 「九成宮醴泉銘」 「雁塔聖教序」 「自書告身」の鑑賞・臨書を通して楷書の用筆・運筆の技法を習得する。	a：唐の四大家の代表作を知り、人物像や歴史的背景について理解しようとしている。 臨書を通して、それぞれの古典の字形や線質、点画の特徴を理解し、それを表現するための用筆・運筆の技能を身に付けている。 b：それぞれの古典の書風、字形や線質、点画などの特徴を把握して、臨書する際に主体的に表現を工夫している。 c：書き手による書風の違いに関心をもち、それぞれの書風を主体的に言い表そうとしている。	作品 授業観察	ワークシート 作品	ワークシート

※令和４年度以降入学生用

後期	漢字の創作学習	古典の学習を通して学んだことを生かし、自ら選んだ四字熟語を創作する。	a: 作品の意図を明確にするための表現の技能を身に付け表している。 b: 書体の特徴を理解し、作品の意図を明確にし、表現を工夫している。自分の作品について、創作意図や感想を文章でまとめている。 c: 題材の選定、作品の構想、完成に至る創作活動について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている 互いの作品を鑑賞し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。	作品 授業観察	ワークシート 作品	相互批評カード 授業観察
	仮名の学習	・仮名の成立や仮名文字の推移について理解する。 ・仮名の単体から連綿まで練習し、特徴を理解し表現する。 ・いろはの単体 ・４～5文字連綿作品 ・「高野切第三種」	a: 漢字の伝来から仮名の成立に至る過程で段階的に発生した仮名の種類を理解している。 仮名の単体から連綿まで、仮名独特の線質や流れを理解し、それを表現するための用筆や運筆を理解し技能を身に付けている。 b: 連綿の創作において主体的な構想に基づく創造的な表現を追求している。 c:「高野切第三種」の特徴をとらえ、流麗な平安朝の仮名の美を理解し味わっている。	作品 授業観察	ワークシート 作品	ワークシート
	漢字仮名交じりの書	・創作作品 自分の言葉を書で表現する。	a: 作品の意図を明確にするための表現の技能を身に付け表している。 b: 各書体のよさを感じ取り、作品の意図を明確にし、表現を工夫している。自分の作品について、創作意図や感想を文章でまとめている。 c:題材の選定、作品の構想、完成に至る創作活動について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている。 互いの作品を鑑賞し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。	作品 授業観察	ワークシート 作品	ワークシート 授業観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度